組織力強化し信頼を

県建築構造設計事務所協会総会

県建築構造設計事務所協会（茶圓次脊代表理事）は10日、鹿児島市のホテルパレスイン鹿児島で2017年度通常総会を開いた。社会的信頼の構築や組織力強化、会員の技術向上・社会貢献の三つを活動方針とする新年度事業計画を決めた。

議事では、久保満氏（㈱久保建築設計）を議長に全5議案を審議。2016年度事業・収支決算報告および2017年度事業計画（総務・防災・技術委員会）、収支予算案などをすべて原案通り可決承認した。

新年度事業計画には、①構造設計事業所のこれからの経営の在り方の探求、会員増大（総務委員会）②設計地震力を上げられることの周知、新耐震以前の既存建物の耐震化への活動・支援、災害時の初動体制づくりと被災調査の準備態勢（防災委員会）③木造建築物の構造設計や耐震診断技術向上のためのサポート、情報のデータベース化（技術委員会）－などを盛り込んだ。

茶圓代表理事は「来年度も会員一丸となって、技術向上や経営改善に取り組んでいきたい」と話した。

新年度事業計画を決めた総会＝鹿児島市のホテルパレスイン鹿児島で

災害情報共有で説明会

KASP 迅速対応に有効

建協大根占支部

県建設業災害情報共有システム（KASP）の説明会が10日、錦江町の中央公民館で行われた。県建設業協会大根占支部（大村一裕支部長）の会員ら約30人が参加。システムの概要や導入メリットなどについて理解を深めた。

初めに、桑水流力郎県建設業協会常務理事がシステム導入の経緯などを説明したあと、川田テクノシステム㈱の井崎文裕氏が情報共有システムの概要や操作方法など解説。災害時の情報共有や資機材管理、安否確認などの機能についても紹介した。

大村支部長は「より確実な情報伝達が重要になってきている。災害時、迅速に対応できる有効的なシステムを理解してほしい」と呼び掛けた。

KASPは、インターネットを活用し災害時における円滑な情報伝達を行うもの。携帯電話やスマートフォンで写真を送信して災害の発生場所や状況を共有し、協会や官公庁が状況を把握することで迅速な復旧に向けた体制づくりが期待されている。

システムの概要やメリットを解説した説明会＝錦江町の中央公民館で

大島高グラウンドで体験学習

ものづくりの魅力理解

畠山建設㈱、鹿児島道路サービス㈱、日伸建設㈱の3社で構成する大島高校グラウンド整備安全協議会（戸内大作会長）は11日、施工中の同校上部グラウンドで生徒を招いて体験学習を兼ねた現場見学会を開催した。

建設業への理解やものづくりの楽しさを知ってもらおうと開いたもので、同グラウンドを利用する野球部、サッカー部を中心に約50人の生徒が参加した。畠山建設が施工する現場では社員指導の下でブロック積みに挑戦。コンクリートを敷いたあと、ゆがみがないよう慎重にブロックを積み重ね、ハンマーで微調整しながら作業した。

参加した野球部の岡﨑瑠生君は「水平にするのが難しかったが、慣れてくると楽しくなり夢中になった」と話した。

生徒はこのほか、防球ネットの編み込み作業や法面現場で型枠と鉄筋の結束作業も体験。見学会には発注者の県大島支庁建設部から兒島優一部長ら職員も参加し、その様子を見守っていた。

畠山建設の畠利文社長は「日ごろ使用しているグラウンドが、いかに多くの人が携わり、造られているかを理解し大事に使ってほしい。ものづくりを通して建設業を将来の選択肢の一つに考えてもらえたら」と話した。

ブロック積みに熱中する生徒ら＝奄美市の現地で

プレナム機工大商談会

特価商品に関心

プレナム機工㈲（福吉浩樹社長）は11、12日、鹿児島市のオロシティーホールで「第2回プレナム機工大商談会」を開いた。電動工具や電化製品などが特別価格で提供され、日ごろ取り引きのある顧客やその家族らで終日にぎわいを見せた。

商談会は、取引先への日ごろの感謝の気持ちを込めて開催。33社のメーカーが専門工具や住宅設備機器、空調資材などを多数展示し、来場者はお買い得価格で販売された商品に関心を寄せ、各ブースの担当者の説明に聞き入っていた。

会場内では「やぶ金」うどんの振る舞いや風船企画「とまらーず」によるイベントも行うなど、趣向を凝らしたコーナーで家族連れらを楽しませた。

福吉社長は「多くの人に楽しんでもらうことが一番」とした上で、「前回開催時は新たなお客さんを紹介してもらうことも多く、つながりの輪が広がる機会にもなった。今後も定期的に開催していきたい」と話した。

終日にぎわいを見せた商談会＝鹿児島市のオロシティーホールで

エプソン「お得祭り」を開催中

来月30日まで受付け

エプソン（東京都新宿区）は、ビジネス製品キャンペーン「お得祭り2017」を開催している。受付期間は3月30日まで。

CAD・GIS向けの大判インクジェットプリンターや大判複合機も、今なら用紙がセットになってお得という。詳細は同社ホームページを参照。

「SC－T3CADC8」＝写真＝は、CAD向けA1サイズ対応の大判インクジェットプリンターに、今なら普通紙ロールが2本セット。「SC－T32MFPC8」は、PCレスで図面のコピーやスキャンが簡単に使いこなせるA1サイズ大判複合機に、普通紙ロールが2本セットになっている。

いずれも高精細な線画品質、高速印刷、高耐水性のインクなどCADに求められる機能が充実している。

問い合わせは、同社（☎050・3155・8100）まで。

お手軽で便利な購読料のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ

技術者への道 708

建設機械施工技士

エンジン

【問　題】建設機械用ディーゼルエンジンの特徴に関する次の記述のうち、適当でないものはどれか。

(1)　一般に4サイクルエンジンが使用され、理論作動サイクルは複合サイクル（サバテサイクル）である。

(2)　最近の排出ガス対策型エンジンは、高圧の燃料を電子制御するコモンレール式燃料噴射装置を採用する機種が増えている。

(3)　自動車用ディーゼルエンジンと比べて、耐久性、寿命の観点から回転速度を下げ、平均ピストン速度を8～11m／sに抑えている。

(4)　4サイクルエンジンの吸入、圧縮、燃焼及び排気の各行程は、クランクシャフトの1／4回転でそれぞれ行われる。

CHECK!!

建設機械に用いられる原動機としては、ガソリンエンジンよりもディーゼルエンジンの方が一般に主流であるが、そのディーゼルエンジンの作動原理や特性について把握することが重要。

詳しくは、建設管理センター九州事業部
0120・14・5353　HP http://www.ecc-jp.com

【前回の解答・解説】　正解　(3)
ローラは、横断勾配がある場合は低い側から高い側に移りながら幅寄せし転圧する。